

家畜衛生だより

最上家畜保健衛生所
最上地域家畜畜産物衛生指導協会
令和6年8月15日発行

新潟県で初の豚熱患畜確認！ 農場における対策の再点検を！

8月14日、新潟県の養豚農場で豚熱の患畜が確認されました。新潟県では初の発生です（国内発生は**93例目**）。発生の概要は以下のとおりです。

1 発生農場の概要

所在地：新潟県新発田市

飼養状況：約450頭

2 経緯

- ・新潟県は8月13日、農場から子豚の死亡増加がみられる旨の通報を受け、病性鑑定を実施。
- ・検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門で精密検査を実施したところ、8月14日、豚熱の患畜であることが判明。

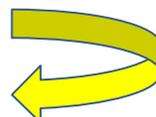
3 今後の対応

- ・当該農場の飼養豚の殺処分及び焼埋却等、防疫措置の実施
- ・感染経路等究明のための国の疫学調査チームの派遣
- ・農場の消毒、野生動物の農場への侵入防止等の飼養衛生管理基準の遵守指導の徹底



これまでの発生農場においては、車両や人の洗浄、消毒、更衣等が不十分だったこと、家畜保健衛生所への通報の遅れ等が確認されている事例があります。再度、農場における対策の点検をお願いします。

最上家畜保健衛生所 電話 0233-29-1357（休日・夜間も対応）



裏面へ続く

1 畜舎内への病原体持ち込み防止の徹底

◇農場での人や車両の出入の際の消毒等の徹底

車両については消毒ゲートとタイヤ及びタイヤ周りの動噴による洗浄・消毒を併用。



関係者以外の農場
への立入を禁止



農場（畜舎）に出入りする際の
①衣類や長靴の交換、②スノコ等
の設置による交差汚染防止、③消
毒の徹底。

消毒前には汚れを落とす。

踏み込み消毒は1日1回交換。

専用の手袋・靴の着用
手指や物品の消毒

畜舎周囲の消毒
消石灰散布

◇野生動物の農場への侵入防止対策の徹底

- ✓ 農場周辺における柵の設置
- ✓ 堆肥舎等への防鳥ネット設置



定期的な点検や修繕を！！

（柵まわりの草刈りも重要です）

2 家畜の異状の早期通報

◇同一の豚房内で発熱、元気消失、結膜炎等を示す豚が増加するなどの
特定症状を認めた場合は必ず通報。

豚熱（CSF）の症状



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

写真出典：岐阜県

◇特定症状が認められない場合でも「豚群において散発的だった死亡が
継続的に見られるなど通常と異なる様子を認めた場合は、家畜保健衛
生所に相談。